

いわて平泉米だより

今月は育苗管理についてポイントを説明します！

育苗 ↓ 緑化 ↓ 硬化 ↓ 田植	日数	ステージ	温度	注意	育苗管理のポイント
	0～5日	出芽まで	(夜15℃以上) (昼30℃まで)	高温による芽焼きと白カビ	<ul style="list-style-type: none"> ①育苗器を持っている方は必ず活用し加温出芽を行うこと。 ※芽の伸ばしすぎに注意する。 ②育苗器を持っていない方は、積み重ね方式による出芽方法も検討ください。 ③出芽揃いまでシルバーポリトウやラプシートで覆う。 ④出芽が7～8割に達したら、平張りを除去し、十分にかん水し土を落とす。
6～20日	出芽～2葉期	(夜10℃以上) (昼20℃～25℃)	立枯れ病 過湿による徒長苗と	<ul style="list-style-type: none"> ①出芽後にはラプシートだけで被覆し、遮光する。夜間低温が予想されるときはシルバーなど保温資材を利用し保温に努める。 ②かん水は早朝1回とし、葉に付着した朝露を落とすように行う。 ③1.5葉期頃から外気温にあたる時間を長くしていく。 (早朝からハウスや苗代を開け換気に努めてください) ④日中に暖められたハウス内の温度を保つため、午後4時頃(日のあたるうち)にはハウスを閉めるようにする。 	
21～30日	2葉期～3葉期	(夜5℃以上) (昼15℃～20℃)	極端な高温、 低温によるムレ苗	<ul style="list-style-type: none"> ①昼夜とも外気にならして苗の硬化を図る。 ②かん水は早朝1回が基本。乾燥が激しく葉が巻くようであれば、さっと湿るようにかん水する。箱のふち部分が乾燥しやすいので重点的に行う。 ③「ばか苗」を発見したら直ちに種子ごと抜き取り、ハウス外に持ち出し処分する。 	